

令和6年（2024年）4月18日

熊本市市民公益活動支援基金  
令和6年度助成決定書交付式について

活動する市民(市民活動団体)と応援する市民(寄附者)をつなぐ制度である市民公益活動支援基金の令和6年度助成団体(12団体)に対し、文化市民局長より「助成決定書」を交付します。  
つきましては、以下のとおり交付式を執り行いますのでお知らせします。

- 1 日時 令和6年(2024年)4月24日(水) 14:00から
- 2 場所 熊本市市民活動支援センター・あいぽーと  
(熊本市総合保健福祉センターウェルパルくまもと1階)
- 3 内容
  - (1)文化市民局 局長挨拶
  - (2)令和6年度助成事業紹介
  - (3)決定書交付

※参考資料:R6助成事業一覧(別添)

＜問い合わせ先＞

地域活動推進課 (096-328-2036)

課長 甲斐 (かい)

担当主査: 吉村 (よしむら)

令和6年度 熊本市市民公益活動支援基金 助成事業概要一覧

1 スタートアップ助成事業

| 団体名                          | 事業名                                                | 事業概要                                                                                                                                                                                                                                            | 総事業費      | 交付決定額<br>(円) |
|------------------------------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|--------------|
| 武蔵野茶友会                       | 令和6年度<br>白川公園茶室研究発表茶会                              | ○伝統工芸を受け継ぐ職人を講師に記念講演を行う。<br>○白川公園茶室の建築意匠についての研究発表を行う。<br>○研究発表及び記念講演の後、研究会員が亭主及び水屋を担当する茶会を行う。                                                                                                                                                   | 196200    | 100,000      |
| NPO法人日本ゆたかなまちづくり<br>研究会      | 熊本市の「治水」の歴史と<br>「治水」文化財の保全を考える<br>---「井手」に触れよう！--- | 熊本市内に張り巡らされている「井手」の中で、地上から確認ができる数ヶ所の「井手」を、「井手」の案内人の説明を交えて見学する。合わせて、「井手」の周囲の「ゴミ拾い」も行う。<br>その後、「井手」の写生大会を開催し、作品は熊本市内で展示をする。具体的に数ヶ所の「井手」とは、「渡鹿堰」、「大井手」、「一の井手」、「二の井手」、「三の井手」の五か所である。                                                                | 100400    | 100,000      |
| 一般社団法人<br>子育てネットワーク縁側moyai   | 農業や食を通じて、子育て世帯<br>のつながりを深めよう！                      | 約600名の登録メンバーを中心に、広く子育て世代を対象として、市内の活動拠点や熊本市近郊の協力農場において、農業体験や、季節の作物を使った料理教室やワークショップなどを開催する。<br>年間を通じてさまざまな視点で企画開催することで、「田んぼでの水遊び→田植え→稲刈り→掛け干し→しめ縄作り」「芋の苗植え→芋掘り→いきなり団子作り」といった四季を通じた一連の流れを感じられ、農と暮らしのつながりを知ることができる。そしてその場が、親や子ども同士の交流や、体験・食育の場にもなる。 | 124000    | 100,000      |
| クマモトeスタジアム<br>eスポーツ交流ボランティア会 | クマモトeスタジアム<br>eスポーツ地域貢献推進事業                        | e スポーツ関連のイベント通して熊本市民が eスポーツに触れ合える機会を増やす事を目標にもつ事業。ゲーム内容や対象者などによって日程等を分け、いくつかの場所で同時開催を行い、ネットで各会場を繋げる事が可能。興味や関心を持つことで、e スポーツを通じて社会で活躍できる人材を熊本から育てることも可能になる。難易度で分けることで本気の人でも初心者の人でも気軽に体験することができるイベントになる。                                            | 100000    | 100,000      |
| 1 スタートアップ助成事業                |                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                 | 400,000   |              |
| 2 ステップアップ助成事業                |                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                 | 1,452,000 |              |
| 総計                           |                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                 | 1,852,000 |              |

令和6年度 熊本市市民公益活動支援基金 助成事業概要一覧

2 ステップアップ助成事業

| 団体名                                       | 事業名                                | 事業概要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 総事業費    | 交付決定額<br>(円) |
|-------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------------|
| くまもと邦楽会館                                  | 子ども邦楽体験ワーク<br>ショップ                 | くまもと邦楽会館は、熊本市内で和楽器体験ができる場所です。<br>一年間を通して『子ども邦楽体験教室』で箏の基礎とアンサンブルを学ぶプログラムと、一年に一度、夏期に開催する『伝統芸能ワークショップ』では箏をはじめ尺八、三味線、太鼓、鳴物、日本舞踊など、普段なかなか触れることのできない和楽器をたのしい雰囲気の中で体験できます。                                                                                                                                                                                                | 628,920 | 250,000      |
| NPO法人ガット                                  | 子どものための体験活動<br>サポートと学校図書館相<br>談事業  | 子どもの体験活動は四つである。第一は、野菜や果物、花を育てる体験から、自然と向き合う楽しさを味わい、収穫して食べる喜びを実感することができるようにすること。第二は物づくり体験で、道具の使い方を知ったり、自分で考えたものを作り上げる満足感を味わったりすることができるようにすること。第三は、読書活動を通して未知の世界を想像しながら、自分自身を見つめたり、悲しみや苦難を乗り越えたりする力を育めるようにすること。第四は、楽器演奏、調理実習、体づくり運動等の興味ある活動で、自らをたかめていくことである。<br>子どもの読書活動を支える学校図書館相談では、熊本市の小中学校の学校図書館の活性化のために、図書館のリニューアルを行ったり読書活動に関する支援を行ったりして、そこで学ぶ子ども達を支える図書館づくりをする。 | 259,520 | 172,000      |
| NPO法人坪井川遊水地の会                             | 坪井川遊水地美化および<br>桜並木・防災講演            | 坪井川遊水地の本来の目的は熊本市の中心市街地を水害から守る目的で40年前に建設された。その後坪井川が大きな災害に見舞われないのはその効果のためでもある。その遊水地の利用を拡大し、今後この素晴らしい都市空間を持続する為に、遊水地を除草美化し、周辺の4小学校児童に桜並木や防災の講演を実施する。                                                                                                                                                                                                                  | 315,000 | 210,000      |
| 特定非営利活動法人<br>教育支援プロジェクト・<br>マスタース熊本       | 地域コーディネーター・<br>ファシリテーター養成事<br>業    | 受講者が受け身にならず、全員が安心して発言・活動し、グループで智恵と力を出し合いながら一人ひとりが意識変容に至るようなグループワークを実施していく。理論と実践の両面から考察した上でのプログラムテキストを作製して配布し、システム化することで短期間で、家庭教育・地域コーディネーター・ファシリテーターの養成を行う。また、指導ではなく、参加者と同じ目線のスタンスで市民活動を支援する人材の育成を行っていく。                                                                                                                                                           | 350,000 | 233,000      |
| 暮らし応援協力隊                                  | 暮らし応援協力隊                           | 地域の担い手不足や高齢世帯（独居含む）の地域での孤立など、社会情勢の変化に伴い、地域を取り巻く課題は益々多様化しています。そこで、暮らし応援協力隊としての活動を通して地域が抱える課題を少しでも減らすお手伝いをする。また、町内高齢の独居者やご夫婦との会話&傾聴等を行いながら情報を知り、お困りの事柄の解決を出来る事から実施する。                                                                                                                                                                                                | 328,658 | 172,000      |
| NPO法人<br>傾聴ネットキーステーション                    | 心に寄り添う傾聴ボラン<br>ティア 養成とスキル<br>アップ講座 | 人と人とのつながりや信頼を得るコミュニケーションの技術として「傾聴」の基本を学ぶボランティア養成講座を8回実施する。講座は座学、話し手と聴き手と観察者という役割を全員が担うロールプレイを中心に傾聴をする際の姿勢を身に着けていく。回を追うごとに真に自分自身を受容することが他人を受容することに気づきを得、話の聴き方次第で人間関係が円滑になり「傾聴」が、自身の人間的成長の学びとなることを理解できるようになる。また実際に外部の話を傾聴する実践と外部の専門家を迎えスキルアップ公開講座を年4回実施し、更に傾聴の深さと技術を学び傾聴力向上につなげる。                                                                                    | 325,100 | 216,000      |
| 一般社団法人<br>Arts and Sports for<br>Everyone | ボッチャ体験会                            | 小学校をはじめとする教育機関や公共施設などからの要請に応じて、ボッチャの体験会を行なっている。特に、熊本市が採択している小学校3年生の東京書籍の国語の教科書に「パラリンピックが目指すもの」でボッチャについて学んだ生徒たちが実際にボッチャを体験したいという要請が多くある。ボッチャは重度障がいのある人たちが楽しめるように開発されたものであり、誰もが楽しめるスポーツである。それをとにかく楽しんでもらうことが共生社会の実現の第一歩であると信じて活動している。                                                                                                                                | 110,308 | 73,000       |
| 『生きづらさカフェ』<br>～ただの居場所～                    | 『生きづらさカフェ』<br>～ただの居場所～             | 月1回の「生きづらさ」をテーマとした当事者会「生きづらさカフェ」を開催する。また大江コミュニティセンターを拠点とした様々な理由で望まない孤独孤立状況にある人達の日中の居場所づくりとして「ただの居場所」。土曜日の夜は地域の皆で、一緒にご飯を食べて過ごす「週末の夜の大人食堂」の事業を通して孤独孤立を防ぐ地域の繋がりを作る。令和5年度に当事者会をやってみて気軽に話したい人と、少人数であまりオープンに話したくない人がいた。なのでオープンの「ただの居場所」とクローズの「生きづらさカフェ」に分けて開催していきたい。                                                                                                     | 190,900 | 126,000      |